

2021年7月

25号

TEEN's BOOK LETTER from Sakyo & Iwakura Library

読みくらべ 「源氏物語」

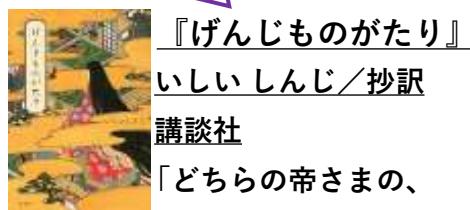
「いざの御時にかーー」で始まる、紫式部が書いた平安の大長編ベストセラー。今回はこの3冊をご紹介。ええ?こんなこと書いてあるの?どれどれ・・と、きっと原文に触れたくなります。
さあ、あなたはどの源氏から始めますか?

「桐壺」の次は「若紫」?



「いつの御代のことでしたかーー」
教養としてではなく、楽しい読み物に。紫の上を中心に章立てを大胆に入れ替え、会話文以外は敬語が省かれています。

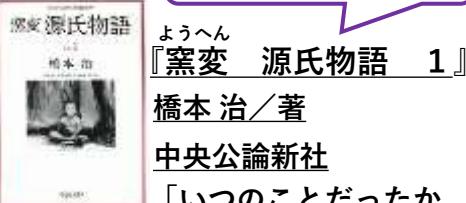
いっさに読める、関西弁源氏



いしいしんじ/抄訳
講談社
「どちらの帝さまの、
頃やったやろなあ。」

登場人物の訳は、光源氏は光君、頭中将は頭兄、紫の上は紫ちゃんといった具合に、まるで芸人のゆりやんレトリィバアさんの語り聞かせのような、親しみやすさ。

光源氏 自ら語る!!



「いつのことだったか、
もう忘れてしまったーー」
光源氏の自分語り(独白)という文体に書き換えてしまった!「窯変」とは、やきものを窯で焼成した時、思いもよらぬ色がされること。原文から、その奥底まで汲み取っています。
この焼き色、いとをかし。

『講談えほん

那須与一

扇の的

神田伯山/監修

石崎洋司/文

宇野亞喜良/絵

講談社



「源平盛衰記」の中の、「扇の的」の場面を題材にした講談の絵本です。ここぞという時にきめる若武者・那須与一のカッコよさが、講談ならではのテンポの良さで描かれています。ぜひ声に出して読んでみてください!

勇者、現る! ~古典に登場するヒーロー~

『新編弓張月

上・下

三田村信行/文

金田榮路/絵

ポプラ社



奇想天外!波乱万丈!

一大冒険活劇ファンタジー!

平安時代に本当にいた人物、源為朝が、保元の乱で敗北した後、実は琉球(沖縄)まで行って大活躍していたという伝説を、江戸時代のベストセラー作家、滝沢馬琴がおもしろく小説にしました。最後は勧善懲悪、ハッピーエンドですっきりするお話です。



『絵物語古事記』
富安陽子/文
山村浩二/絵
偕成社

日本最古の歴史書である「古事記」。ヤマタノオロチを退治した荒々しいスサノオや、心優しく女性にモテモテのオオクニヌシなど、人間味あふれる個性的な神々が登場します。
あなたの推し神を探してみては?

平安LIFE ~平安時代の男子&女子~

『平安男子の元気な!生活』



川村裕子/著
岩波書店

平安貴族の男子と聞くと優雅にまつたり暮らしているとイメージしがちだけど、実はちがうんです。日の出前に起き、仕事のほかに行事や儀式をこなしつつ、キャリアアップを目指し、恋にも...と超忙しい。
そんな平安男子の生活をのぞいてみませんか?



『平安女子の
楽しい!生活』
川村裕子/著
岩波書店

平安女子の家のインテリアやファッショントレンド、ヘアのケア方法やメイク術、恋の作法や和歌のテクニックなどがこの1冊に!この本を読めば、きっと平安女子たちがもっと身近に感じられるはずです。

『平安女子は、
みんな必死で
恋してた』
イザベラ・
ディオニシオ/著
淡交社

「源氏物語」の紫式部、「更級日記」の菅原孝標女、「蜻蛉日記」の藤原道綱母など有名な作品で知られる平安女子たちの恋愛事情が書かれています。古典作品の原文もあり、そこには乙女心溢れる著者の訳もつけられています。ぜひ手に取ってご覧あれ!

よんでみて ~和歌&詩~

『百人一首

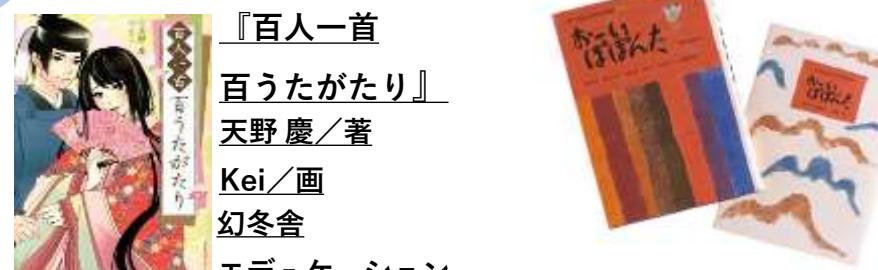
百うたがたり』

天野慶/著

Kei/画

幻冬舎

エデュケーション



百人一首って知っているけど、歌の意味がいまいちわからない...そう思っている人にオススメです。この本は歌がよまれた背景が短い物語になっているので、歌の意味がとっても分かりやすいです。どんな気持ちで歌をよんだのか、

ぜひ、手に取って
ご覧あれ!



『おーいぱぱんた』

茨木のり子/[ほか]編集委員
柚木沙弥郎/画
福音館書店

なんじゃ、
こりゃ!

あかあかや あかあかあかや
あかあかあかや あかあかや月

この詩を、ぜひ、声に出してよんでみてください。すると、鎌倉時代のお坊さんが、明るい月を見た時と、同じ気持ちになれるかも。この本には、そんな詩がたくさん載っています。

京都市左京図書館

住所

〒606-8103

京都市左京区高野西開町5

電話番号 075-722-4032

開館時間

平日

午前9時30分~午後7時(当面の間)

土日祝

午前9時30分~午後5時

新型コロナ感染拡大防止のため、開館時間など変更する場合があります。

休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日) 年末年始(12月29日~1月4日)

京都市岩倉図書館

住所

〒606-0013

京都市左京区岩倉下在地町16

電話番号 075-702-8510

開館時間

月木

午前9時30分~午後7時

水金土日祝 午前9時30分~午後5時